

■活動概要

2022年は、岐阜県美術館との共催による展覧会、IAMAS ARTIST FILE#08「記譜、そして、呼吸する時間」の企画・運営に多くの力を注いだ。これはタイムベースドメディア・プロジェクトの取り組みのひとつであり、博士後期課程在籍中の福島諭の個展だった。展覧会では、コンピューターと木管楽器による室内楽作品の空間展示を中心に、他者との交換形式によって創作した音楽や平面、映像作品などを紹介し、また、福島と同様に作曲から造形へ表現を拡張した佐藤慶次郎(1927～2009)による電子オブジェの特別展示も行った。これらは、岐阜県美術館の所蔵作品であることから実現した。会期中、作曲家・桑原ゆう氏とのトークイベントや佐藤慶次郎による電子音具《エレクトロニック ラーガ》を使用したコンサートも開催した。展覧会はコロナ禍による影響はあったが、3500名以上の来場があった。

個人研究としては、WEBムービー・プロジェクト『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』から制作したオムニバス映画が、第68回オーバーハウゼン国際短編映画祭(ドイツ) International Online Competition部門に選出され、国内においても、K's Cinema(東京)で開催された映画祭「ドキュメンタリー・ドリームショー」にて上映された。また、国立国際美術館で開催された、中之島映像劇場「前田真二郎レトロスペクティブ」では、1990年からこれまでに制作した映像作品から個人制作作品に絞って、6プログラム、16作品を上映した。この作品の選定や2本の新作を含む上映準備に多くの時間を費やした。2日間の予約制のプログラムは全てほぼ満席となり盛況裡に幕を閉じた。

■企画・発表(タイムベースドメディア・プロジェクト)

1.

IAMAS ARTIST FILE#08「記譜、そして、呼吸する時間」
岐阜県美術館

2022/07/05-09/11

出品作家: 福島諭 企画: 西山恒彦(岐阜県美術館) 前田真二郎・三輪真弘(IAMAS)

2022/07/17 福島諭 アーティストトーク ゲスト: 桑原ゆう(作曲家)

2022/08/28 コンサート「エレクトロニックラーガのための室内楽」

出演: 福島諭、福島麗秋、濱地潤一、飛谷謙介(Mimiz)

ゲスト: 石川喜一(ピアノ調律師・美術家)

企画、全体のディレクションを担当。



2.

展覧会ファルマコン2022「新生への捧げ物」
The Terminal KYOTO

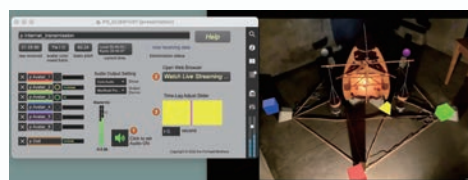
2022/05/28-06/19

主催: art-sensibilisation キュレーター: 大久保美紀

出展作家: 入江早耶 大久保美紀 梶村昌世+福島陽子 フロリアン・ガデン

ジェレミー・セガール 西脇直毅 堀園実 三輪真弘+前田真二郎+佐近田展康

三輪真弘+前田真二郎+佐近田展康による、《母音廻し、または遠隔音響合成のための五芒星》を発表。オンライン配信の設計や現場のインストールを担当。



《母音廻し、または遠隔音響合成のための五芒星》

3.

佐治敬三賞受賞記念～ぎふ未来音楽展2022
三輪真弘+福島諭 二人展

サラマンカホール

2022/09/18

作曲: 福島諭+濱地潤一(《変容の対象》)、映像: 前田真二郎(日々“hibi” AUG)

サクソフォン: 濱地潤一、ピアノ: 山内 敦子、映像送出: 森田了

タイムベースドメディア・プロジェクトで2019年から取り組んできた映像と室内楽によるアンサンブル作品《日々《変容の対象》8月》を上演。



《日々《変容の対象》8月》

■プロジェクト

2022年は、タイムベースドメディア・プロジェクトと体験拡張表現プロジェクトに所属。(分担)前期は、下記のIAMAS OPENHOUSE 2022での展示に向けて、後期は、IAMAS 2023 プロジェクト成果発表会(2023年2月開催)に向けて、履修メンバーの作品制作の指導を行った。

IAMAS OPENHOUSE 2022 (2022/07/23,24)

・TBMプロジェクト展 (タイムベースドメディア・プロジェクト)

パフォーマンス、ストリーミング、インスタレーション等、多様な形式で修士1年5名、修士2年2名が展示。ゲストを迎えてのオンライン・トークセッションも開催。



TBMプロジェクト展

トークセッション「VRの「言葉」と、私たちについて。」

ゲスト:伊藤道史(東京藝術大学 映像研究科) uku kasai (Producer / Singer)

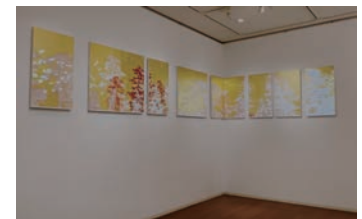
ホスト:JACKSON kaki / 新垣 隆海(修士1年)



EEE-Exhibition

・EEE-Exhibition (体験拡張表現プロジェクト)

実空間と仮想空間やコミュニケーションをテーマとした習作を、修士1年の5名が展示。



《pine trees #7 + birds / high tide》

■RCIC / 広報委員

・2023年開催の岐阜おおがきビエンナーレ、IAMAS ARTIST FILEの企画立案。

(助成金の申請などをディレクターと進める)

・アートラボぎふ ワークショップ準備(岐阜県主催 連携事業)

・IAMAS WEB<イベントレポート>編集担当。下記4本を公開。

- 1.岐阜県美術館 IAMAS ARTIST FILE #08 (川崎弘二氏)
- 2.「ねお展:アジール(自由領域)であり続ける地域のこれまでそしてこれから」展(鳥羽都子氏)
- 3.赤松正行個展「タレスの刻印」(四方幸子氏)
- 4.Ogaki Mini Maker Faire 2022(永松歩氏)

■個人研究・発表 / 作品制作

[発表]

1.

安喜万佐子展「時の海・明日の地層」

FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

2022/04/12-28

コラボレーション作品《pine trees #7 + birds / high tide》を出品。

2.

第68回オーバーハウゼン国際短編映画祭(04.30-05.09 オンライン)

2022/05/01

《7 blinks after a decade》2021/ 36'02" /Japan

監督:前田真二郎、中沢あき、齋藤正和、峯利子、木村悟之、池田泰教、本間無量

前田が企画した「BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2011-2021」からの7編、《7 blinks after a decade》がインターナショナル オンライン コンペティション部門に選出。

3.

第26回アートフィルム・フェスティバル[国際芸術祭あいち2022 連携企画事業]

主催:愛知県美術館 愛知芸術文化センター12F アートスペースA

2022/09/09

特集上映「映画は、アクシデントではない」で、1998年の作品《王様の子供》が16mmフィルムで上映。

4.

ドキュメンタリー・ドリーム・ショー2022(山形国際ドキュメンタリー映画祭東京上映)

新宿K's cinema

2022/11/06,18

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus 2011 / 2016 / 2021》が選出。

企画:前田真二郎 監督:池田泰教 大木裕之 鈴木光 峯利子



第23回 中之島映像劇場 「光の布置—前田真二郎レトロスペクティブ—」

国立国際美術館

2022/11/12,13

1990年からこれまでの期間に制作した映像作品から、6プログラム、16作品を上映。

Aプログラム

《日々“hibi” 13 full moons》(SD-digital/2005年/96分)

Bプログラム

《20》(VHS-video/1990年/5分)

《FORGET AND FORGIVE》(VHS-video/1991年/14分)

《VIDEO SWIMMER IN BLUE》(VHS-video/1992年/12分)

《TELEVISION BY VIDEO BY TELEVISION》(VHS-video/1993年/5分)

《L》(Hi-8 video/1995年/25分)

《Braille》(Hi-8 video/1996年/11分)

Cプログラム

《王様の子供》(DV, SD-digital→16mm/1998年/40分) 製作:愛知芸術文化センター

《オン》(DV, SD-digital/2000年/72分)

D/Fプログラム

《日々“hibi” AUG》(FHD-digital/2008-2022年/120分)

Eプログラム

《on2》(DV, SD-digital/2003年/5分)

《中也を想い、サンボする》(DV, SD-digital/2006年/10分) 製作:山口情報芸術センター[YCAM]

《Wedding 結縁》(DV, SD-digital/2007年/15分) 製作:佐野画廊

《星座》(FHD-digital/2009年/20分) 製作:佐野画廊

《GOLDEN TIME》(FHD-digital/2019年/8分)

Gプログラム

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2008-2022》(FHD-digital/2008-2022年/50分)

[作品制作]

《日々“hibi” AUG》120min./FHD-digital/2008-2022

8月の1ヶ月間、毎日撮影を行い、1日15秒の映像を選び、それをを順番に31カット繋げる映像作品、《日々“hibi” AUG シリーズ》を2008年から制作している。15作目にあたる《日々“hibi” AUG 2022》を制作した。そして、《日々“hibi” AUG 2008》から《日々“hibi” AUG 2022》の15本をつなげ、音楽やモノロークを追加し、120分の『日々“hibi” AUG』を完成させた。

■ 出版

2022/03

情報科学芸術大学院大学紀要 第13巻

特集1 メディア表現学会(仮称):

オンラインにおける表現とプラットフォームを『共集性』から考える

P22, 第1部 話題提供 配信における没入感の深さを探る 三輪真弘+前田真二郎

P30, 第3部 ディスカッション

特集2 <NTFアート>の可能性と課題

P51, IAMAS Graduate Interviews VOL.24: 高尾俊介 × 前田真二郎

2022/06

第21回中之島映像劇場 (2021)「美術館と映像—ビデオアートの上映・保存—」

《VIDEO SWIMMER IN BLUE》—アナログビデオの時代— 前田真二郎

国立国際美術館 WEBページ 配布資料のオンライン公開

https://www.nmao.go.jp/nakanoshima_article/nakanoshima21/

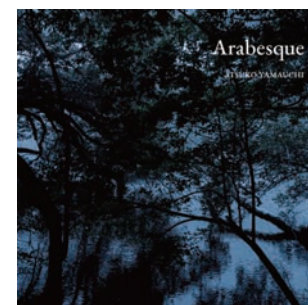
2022/05

山内敦子 ファースト・ピアノソロアルバム Arabesque

ジャケット、ブックレット写真を担当



情報科学芸術大学院大学紀要 第13巻



山内敦子 CD《Arabesque》

■シンポジウム・トーク

2022/08/20

クロストーク 土田ヒロミ × 前田真二郎

「現代写真における記録と表現」

岐阜県美術館 講堂(第4回ぎふ美術展 関連プログラム)

〈上映会でのアフタートーク〉

2022/05/01 第68回オーバーハウゼン国際短編映画祭(オンライン)

2022/11/06 ドキュメンタリー・ドリーム・ショー2022 新宿 K's Cinema

2022/11/13 「光の布置—前田真二郎レトロスペクティブ—」国立国際美術館



クロストーク 土田ヒロミ × 前田真二郎

■社会活動

- ・日本映像学会中部支部理事・研究企画委員兼任
(6月まで。以後、中部支部幹事)
- ・ぎふ美術展企画委員
- ・岐阜市文化芸術推進審議会委員
- ・LED. 実行委員会 運営委員

